

水稻の生育状況（7月5日現在）と栽培上の留意点について

発信日：2023年7月7日

1 生育状況

7月5日現在の水稻の生育状況は、平年値(2013～2022年までの過去10年平均)と比べて、表1のとおりです。

表1 水稻の生育状況(7月5日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
はるみ	6月上旬*	長い	やや多い	薄い
	6月中旬**	同等	同等	同等
キヌヒカリ	6月上旬	長い	多い	同等
	6月中旬	長い	多い	同等
てんこもり***	6月上旬	長い	多い	薄い
	6月中旬	やや長い	多い	同等

*2014～2022年までの過去9年平均との対比 **2015～2022年までの過去8年平均との対比

***2018～2022年までの過去5年平均との対比

2 栽培上の留意点

気象庁が7月6日に発表した1か月予報(7/8～8/7)は、気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並」、日照時間は「平年並か多い」見込みとなっています。今後の栽培管理については、次の点に留意してください。

(1) 出穂期

出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報から平年並～やや早いと予想されます。

(2) 中干し

中干しは、過剰分げつ抑制と根への酸素供給、田面を固め倒伏を予防するために実施します。最高分げつ期頃から5～7日程度水を切り、田面に軽いひび割れができる程度に干しましょう。

(3) 病虫害防除

ア イネツトムシ(イチモンジセセリ) (写真1)

イネツトムシの防除適期は、粒剤で孵化最盛日の5日前、その他の薬剤で孵化最盛日から5日後程度です。

今年の県内各地の孵化最盛日の予測は、病虫害防除部の「令和5年度病虫害発生予察情報」を参照してください。



イネツトムシ(写真1)

左:被害状況(複数の葉が綴り合っている)

中心:幼虫 右:成虫

イ 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類（写真2）に吸汁されると、玄米に斑点が生じることがあります（写真3）。畦畔等の雑草で増殖するため、除草を徹底することが有効です。ただし、出穂期頃の除草は、水田に追い込むことになるため、畦畔雑草の除草は出穂10日前までに必ず終わらせてください。



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



アカヒゲホソ
ミドリカスミカメ



アカスジ
カスミカメ

斑点米カメムシ類（写真2）



斑点米（写真3）

ウ スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）（写真4、5）

発生地域では周辺への拡大防止や密度を減らすため、水田や水路の貝を捕殺するとともにピンク色の卵（卵塊）は潰しましょう。また、水田内への侵入を防止するため、水口と水尻に6～9mm目合いの網を設置しましょう。



スクミリンゴガイ（写真4）



卵塊（写真5）

※ この他の病害虫防除対策は、病害虫防除部の「令和5年度病害虫発生予察情報」を参照してください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2023_3_31.html

※ また、薬剤防除を行うときは、病害虫防除部の「防除情報(病害虫情報 号外 第4号)」を参考に、適切な農薬使用をお願いします。

http://www.pref.kanagawa.jp/documents/97362/20230703_gogai4.pdf

(4) 雑草防除

後期剤を使用するときは、必ずラベルを確認し、収穫前日数に注意してください。

(5) 農作業安全

農作業中の熱中症に注意してください。熱中症の予防には日中の気温が高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょう。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給するとともに、帽子の着用や汗を発散しやすい服装を心がけましょう。

台風などの大雨時の水田等の見回りは大変危険です。気象情報及び周囲の状況を十分に確認し、安全な状況になるまでは行わないでください。

【参考】

表2 農業技術センター（平塚市）における過去10年（2013～2022年）平均

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
6 月 上 旬 植	はるみ	7月11日～16日頃	7月26日～8月10日頃	8月10日
	キヌヒカリ	7月10日～15日頃	7月25日～8月9日頃	8月9日
	てんこもり	7月17日～22日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日*
6 月 中 旬 植	はるみ	7月17日～22日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日**
	キヌヒカリ	7月16日～21日頃	7月31日～8月15日頃	8月15日
	てんこもり	7月21日～26日頃	8月5日～8月20日頃	8月20日*

- ・ 穂ばらみ期は、出穂期約15日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期なので、水田の水位を十分に保つようにする。
- ・ *2018～2022年（5年平均）のデータに基づく。 **2012, 2015～2022年（9年平均）のデータに基づく。

問合せ先

農業技術センター普及指導部作物加工課

TEL：0463-58-0333 内線381～384